# 材料（製品）安全データシート

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 製品の名称 | ：切断液 | ページ | ： | 1/6 |
| データ更新日 | ：2006年6月1日 | 発行日 | ： | 2006年6月1日 |
| 製品名称番号 | ：M1201032 | SDS-ID | ： | US/6.0 |

## 1． 物質/製品と製造/販売会社

製品の名称 ：切断液
適用 ：切断液
容器のサイズ ：1リットル
データ製造者 ：ストルアス社
製造・販売会社 ：ストルアス社(StruersA/S)
Pederstrupvej 84, 2750 Ballerup, DENMARK (TEL：＋45-44600-800)
丸本ストルアス株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6(TEL：03-5688-2930)
緊急時の連絡先 ：丸本ストルアス株式会社 応用開発部
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6(TEL：03-5688-2917)

## 2. 成分の構成/情報

本製品は、有機溶剤を含有している。

| 薬品名 | ECNo. | CAS No. | 含有比 （%） | 危険性の分類 |
|---|---|---|---|---|
| 蒸留液(石油製品)、水素化処理軽油 | 265-149-8 | 64742-47-8 | 75～80 | 有害性:R65, R66 |
| 脂肪酸、C14-18 | | - | 10～20 | - |
| 脂肪族モノカルボン酸 | | - | 1～5 | - |

注記：なし。

## 3． 危険性の特定

本製品は、危険性の区分、有害性:R65、R66 に分類される。

人体 ：本製品の少量の水滴でも、吸引や経口摂取により肺に入ると、化学反応による重大な肺の炎症を引き起こす恐れがある。
環境 ：本製品には、環境に対する危険性は少ないと思われる。

## 4. 応急手当

| | |
|---|---|
| 吸入 | ：新鮮な空気がある場所に退避して、安静にして観察する。悪心がある場合は、この指示書を持参して、医師の診察を受ける。 |
| 皮膚に付着 | ：ただちに汚染された衣服を脱衣して、石鹸と水で皮膚を十分に洗浄する。 |
| 眼球に飛散 | ：ただちに大量の清浄水で15分間洗眼する。コンタクト・レンズは取り外して、まぶたを大きく開ける。炎症が治まらない場合は、この指示書と共に病院へ搬送する。 |
| 経口摂取 | ：ただちに口内を洗浄して、大量の水を飲む。容態を観察する。悪心がある場合は、この指示書を持参して、医師の診察を受ける。無理に吐かせようとしてはならない。 |

## 5. 消火方法

| | |
|---|---|
| 消火剤 | ：周辺の材料に適当な消火剤を使う。 |
| 特定危険性 | ：可燃性であり、加熱や火炎で、有毒な気・煙混合体を生成する恐れがある。 |
| 消防士の防護用具 (*) | ：消防用呼吸器保護：職場内掲示防火規定に従う。(*) |

## 6. 偶発的漏洩時の対応

| | |
|---|---|
| 人身保護対策 | ：喫煙を含めて、火気を厳禁する。煙霧を吸引したり、皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。人身保護用具は第8項を参照する。 |
| 環境保護対策 | ：下水道、河川、土壌などに排出してはならない。 |
| 清掃方法 | ：発火源を取り除き、砂や土壌などの不燃物で漏洩物を取り囲んで回収する。第13項にしたがって、廃棄物処理をする。 |

## 7. 取扱方法と保管方法

| | |
|---|---|
| 安全な取扱方法 | ：煙霧を吸入したり、皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。労働衛生管理を遵守して励行する。 |
| 技術的対策 | ：喫煙や火炎を禁止する。 |
| 技術的注意 | ：水源や洗眼装置をすぐ近くに設置する。 |
| 安全保管の技術的対策 | ：特にない。 |
| 保管条件 | ：元の容器に密栓して換気の良い場所に保管する。酸化剤から遠ざける。 |

## 8. 被曝防止と人身保護

技術的対策 ：十分な換気を計る。業務上の被曝限界値を遵守して、煙霧吸入の危険性を抑制する。給水源又は緊急用シャワーをすぐ近くに設置する。

| 化学物質の名称 | 被曝限界値 | 種別 | 注記 | 参考文献 |
|---|---|---|---|---|
| オイルミスト、無機物 | 5 mg/m$^3$ | TWA | － | ACGIH |
| | 10 mg/m$^3$ | STEL | 15 分 | |
| オイルミスト、無機物 | 5 mg/m$^3$ | TWA | － | OSHA |

人身保護 ：人身保護の機器は、CEN規格に従って、機器提供会社と共同で選定する。

呼吸装置 ：充分な換気が得られない場合: 有機煙霧吸収缶付ガスマスクを着用。(*)

手指保護 ：保護手袋を着用する。ラミネート(PE/EVOH)製の手袋を推奨するが、液状の本製品は、手袋を貫通して皮膚に浸透するので、頻繁に交換することを薦める。手袋の提供会社と共同で材料の浸透時間を確認し、最適な手袋を選定する。

皮膚保護 ：保護眼鏡又は顔面保護のフェイス・マスクの着用を推奨する。

環境被曝制御 ：空気汚染の抑制が必要である。

## 9. 物理化学的特性

外観 ：透明な液体。

臭気 ：独特の臭い。

水素イオン指数 (pH) ：該当しない。

沸点 ：＞190℃

引火点 ：＞70℃

爆燃性 ：分からない。

相対密度 ：0.8

溶解性 ：水に溶解しない。

その他 ：40℃における動粘度: ＜7mm$^2$/S
平均表面張力: ＜33 mN/m(40℃)

## １０．安定性と反応性

| | |
|---|---|
| 安定性 | ：常温で安定している。 |
| 禁止条件/材料 | ：熱源に露出させず、酸化剤から遠ざける。 |
| 危険な分解性物質 | ：特にない。 |

## １１．毒物学的情報

| | |
|---|---|
| 吸入 | ：煙霧は、頭痛、疲労感、めまい、吐き気を引き起こす恐れがある。噴霧は、呼吸器系に炎症を引き起こし、せき込み、呼吸困難を起こす恐れがある。本製品の少量の水滴でも、吸引や経口摂取により肺に入ると、化学反応による重大な肺の炎症を引き起こす恐れがある。 |
| 皮膚に付着 | ：炎症を引き起こす。 |
| 眼球に飛散 | ：飛散すると炎症を引き起こす恐れがある。 |
| 経口摂取 | ：炎症を引き起こし、吐き気、腹痛、嘔吐を引き起こす恐れがある。有害であり飲み込むと肺に障害を引き起こす恐れがある。 |
| 特定の影響 | ：有機溶剤からの煙霧は、肺に吸収される危険がありその結果脳神経を含む神経系に回復不能な障害を与える場合がある。 |

| | | |
|---|---|---|
| 発癌性 | ：全国毒物研究計画（NTP） | ：なし。 |
| | 国際癌研究所（IARC）研究 | ：なし。 |
| | 職業安全保健局（OSHA） | ：なし。 |

## １２．生態学的情報

| | |
|---|---|
| 移動性 | ：本製品は、水に溶解しない。 |
| 分解性 | ：本製品の、生物学的分解性についての表示はない。 |
| 生態系有毒性 | ：本製品の、環境への有害性はほとんどないと思われる。 |
| 体間蓄積の可能性 | ：体間蓄積に関するデータはない。 |
| その他の有害事項 | ：事例なし。 |

## １３．廃棄方法

廃棄物や残留物を処分する場合は、地元監督機関の要請事項に従う。廃棄物は、有害な廃棄物と見なす。（*）

| | |
|---|---|
| 残留廃棄物 | ：EWCコード：16 05 08（*） |

## １４．搬送方法

本製品は、危険物の搬送に関する国際規格（IMDG、IATA、ADR/RID）の対象ではない。

## １５．法的規制

ラベル表示　：有害物質

含有物：蒸留液(石油製品)、水素化処理軽油

R65　：有害:飲み込むと肺に障害を引き起こすことがある。
R66　：度重ねて皮膚を露出すると、乾燥やひび割れを起こす恐れがある。
S37　：適当な手袋を着用する。
S60　：この物質や容器は有害廃棄物として処理する。
S62　：飲み込んだ時は吐かせてはならない。ただちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。

全国防火協会（NFPA） 評価　：人体影響度:2、引火性:2、反応性:0、その他:－(*)

特記事項　：毒性物質規制法（TSCA）に記載。
(*)

法令法規　：ヨーロッパ/アメリカ合衆国:
本材料(製品)安全データシートは、欧州共同体規則にしたがって作成した。
1) 許容限界値(2006年)は、アメリカ政府産業衛生管理者会議(ACGIH)による。(*)
2) アメリカ合衆国連邦規則集第29巻1910部:職業安全保健基準「大気汚染物質」。
(*)

## １６．その他

ユーザは適正な作業手順に習熟し、本書の内容に精通していなければならない。

今回修正及び追加のあった項目 ：第5、第8及び第15項
(*) 印 ：今回変更した箇所

デンマーク毒物調査センター(DTC) 担当者承認 (署名):

危険用語解説:
R65 ：有害:飲み込むと肺に障害を引き起こすことがある。
R66 ：度重ねて皮膚を露出すると、乾燥やひび割れを起こす恐れがある。

本データシートの内容は現時点で有効な情報であり、通常の使用条件で、同梱資料又は取扱説明書に記載する使用方法で適正に取り扱う限り、弊社が知り得る最も正確な情報である。本製品を定められていない目的に使用したり、他の製品又は他の使用方法と併用する場合は、ユーザが危険性に責任を負う。

デンマーク毒物調査センター (DTC)
Kogle Alle 2, DK-2970 Horsholm, Denmark (TEL:+45-4576-2055, FAX: +45-4576-2455)